



2024年3月15日

各位

会社名 株式会社インターネットインフィニティー
代表者名 代表取締役社長 別宮圭一
(コード番号：6545 東証グロース)
問合せ先 常務取締役 星野健治
(TEL. 03-6897-4777)

2024年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期業績予想および配当予想を、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2023年5月15日公表)	百万円 5,022	百万円 172	百万円 160	百万円 106	円 銭 19.98
今回修正予想(B)	4,946	229	265	126	23.73
増減額(B-A)	△76	57	104	19	—
増減率(%)	△1.5	33.1	65.2	18.8	—
(ご参考)前期実績(2023年3月期)	4,464	96	146	33	6.27

(注) 2024年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績(2023年3月期)に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。また、今回修正予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、2024年3月期第3四半期連結累計期間までの自己株式の取得及び処分による影響を考慮して算定しております。

(2) 業績予想の修正理由

最近の業績動向を考慮した結果、売上高は当初計画を下回るものの、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益において当初計画を上回る見通しとなったため、2024年3月期業績予想を上表の通り修正いたします。

① 売上高

売上高につきましては、以下の要因により当初計画(5,022百万円)を下回り4,946百万円に修正するものであります。

i ヘルスケアソリューション事業

(レコードブック事業)

直営店においては、当初計画どおり、利用者数、サービス利用回数等がコロナ禍前の水準を超え、

順調に増加しております。しかしながら、当期中に直営店3店舗をフランチャイズ加盟店に譲渡するとともに、地方店の整理を実行したことにより、期初31店舗であった直営店は当期末において24店舗となる見込みとなりました。これらの影響により結果として、当初の計画と比較して売上高は19百万円減少する見通しです。

次に、レコードブックフランチャイズ加盟店においては、既存店については直営店同様、利用者数、サービス利用回数等が順調に増加しております。しかしながら、フランチャイズ本部が担う新規出店に係る物件開発において、一時的な物件需要の高まりの影響を受け、店舗開設に遅延が発生いたしました。この結果、当初34店舗を予定していた出店数は12店舗となる見通しです。そのため、フランチャイズ加盟店からの加盟金や初期費用、新規フランチャイズ加盟店の売上高に応じたロイヤルティ収入の減少等の影響により、当初の計画と比較して売上高は41百万円減少する見通しです。

結果として、レコードブック事業につきましては、当初計画(1,883百万円)を下回り1823百万円となる見通しとなりました。

(Webソリューション事業)

仕事と介護の両立支援サービスにつきましては、グループ企業へサービス導入が順調に進み概ね当初計画通りに進捗し、当初の計画と比較して売上高は5百万円増加する見通しです。

シルバーマーケティング支援につきましては、従来のプロモーション支援やマーケティングリサーチに加え、コンサルティングなどの上流工程から関わることにより売上が拡大し、当初の計画と比較して売上高は44百万円増加する見通しです。

メディカルソリューションにつきましては、当初の計画と比較して売上高は20百万円減少する見通しです。

結果として、Webソリューション事業につきましては、当初計画(291百万円)を上回り321百万円となる見通しとなりました。

(アクティブライフ事業)

福祉用具貸与及び販売等事業においては、堅調に推移しているものの、住宅リフォーム事業において当初計画を下回る見込みとなり、結果として、アクティブライフ事業につきましては、当初計画(1,274百万円)を下回り1,260百万円となる見通しとなりました。

ii 在宅サービス事業

通所介護サービスがコロナ明けで順調に回復したことを受け牽引したものの、訪問介護サービスにおいて、ヘルパー等の採用に苦戦した結果、当初の計画と比較して売上高は31百万円減少する見通しです。

結果として、在宅サービス事業につきましては、当初の計画(1,573百万円)を下回り1,542百万円となる見通しとなりました。

② 営業利益

営業利益につきましては、上記のとおり、売上高が当初計画を下回る見込みであるものの、それに伴い、原価については当初計画を27百万円下回る見通しです。また、費用については、前期より進めてきた業務効率化や、本社移転等を含めたコスト構造の見直しなどの施策の成果及び当期中にM&Aの

実行がなかったことなどから、費用は大きく削減され、当初計画を 106 百万円下回る見通しです。

結果として、営業利益は当初の計画（172 百万円）を大きく上回り 229 百万円となる見通しとなり修正するものであります。

③ 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益につきましては、上記のとおり、営業利益が当初計画を上回る見込みであることに加え、レコードブック直営店をフランチャイズ加盟店に譲渡した際の事業譲渡益等を計上したことにより、結果として、当初の計画（160 百万円）を大きく上回り 265 百万円となる見通しとなり修正するものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記と同様に事由により修正しており、当初の計画（106 百万円）を上回り 126 百万円となり修正するものであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想（2023 年 5 月 15 日公表）	0 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭
今回修正予想		5 円 00 銭	5 円 00 銭
当期実績（2024 年 3 月期）	0 円 00 銭		
前期実績（2023 年 3 月期）	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

(2) 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題として認識しており、成長投資と株主還元との両立を図りつつ資本効率の向上を目指す方針のもと、資本の健全性や成長投資とのバランスを勘案しながら、1 株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、連結配当性向 20%を目途に配当を実施することを基本方針としております。

当期の期末配当予想につきましては、上記の通り、通期の連結業績予想を上方修正することに伴い、1 株当たり配当予想につきましても 4 円から 5 円に修正するものであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、実際の業績は上記の予想とは異なる場合があります。

以 上